

NPO 法人アサザ基金
代表理事 飯島 博 殿

茨城県知事 大井川 和彦



要望書に対する回答について

日頃より、県行政の推進につきましてご理解を賜り御礼申し上げます。
さて、平成 30 年 10 月 1 日付けをもって提出がありました要請について、下記のとおり回答いたします。

記

1. 霞ヶ浦の水利権者である茨城県は、現在行われている生態系を損なう水位上昇管理の中止を国交省に求めること。

【回答】

霞ヶ浦の水位は、利根川や霞ヶ浦の流況、海水（塩水）の遡上状況等により、常陸川水門の操作で管理されております。

霞ヶ浦の水位運用は、水門の管理者である国が、水利用と湖の水辺環境との共生を模索するために、降雨状況を踏まえ目標水位に運用幅も持たせる取り組みを実施していると聞いております。

県といたしましては、霞ヶ浦の安定した水源の確保が重要であると考えております。

なお、ご要望の内容については、管理者である国にお伝えします。

（政策企画部：水・土地計画課）

2. 関係機関が揃う世界湖沼会議において持続可能な生態系サービスと人と湖沼の共生が可能な水位管理への見直しを議論すること。

【回答】

今回の会議では、住民、農林業業者、事業所、研究者、行政、こどもたち等幅広い機関・団体の方が参加するため、湖沼を取り巻く様々な問題について包括的な議論が行われると考えています。

（県民生活環境部：環境対策課）

3. 茨城県は、持続可能な生態系サービスと人と湖沼の共生が可能な水位管理を実施するために協議の場を設置するなど必要な措置を講じること。

【回答】

霞ヶ浦の水位は、利根川や霞ヶ浦の流況、海水（塩水）の遡上状況等により、常陸川水門の操作で管理されております。

霞ヶ浦の水位運用は、水門の管理者である国が、水利用と湖の水辺環境との共存を模索するために、降雨状況を踏まえ目標水位に運用幅も持たせる取り組みを実施していると聞いております。

県といたしましては、霞ヶ浦の安定した水源の確保が重要であると考えております。

なお、ご要望の内容については、管理者である国にお伝えします。

（政策企画部：水・土地計画課、県民生活環境部：環境対策課）

4. 茨城県主導で国交省や環境省など関係機関を連携させ、霞ヶ浦における放射性物質対策を実施する体制を早急に作ること。

【回答】

放射性物質汚染対処特措法で、事故由来放射性物質による環境の汚染への対処については国が必要な措置を講ずることとなっているため、霞ヶ浦における放射性物質対策については国が実施するものと認識しています。

（県民生活環境部：環境対策課）

5. 関係機関が揃う世界湖沼会議において、霞ヶ浦の放射性物質対策についての議論を行い今後の対策に生かすこと。

【回答】

今回の会議では、住民、農林業業者、事業所、研究者、行政、子どもたち等幅広い機関・団体の方が参加するため、湖沼を取り巻く様々な問題について包括的な議論が行われると考えています。

（県民生活環境部：環境対策課）

6. 関東地方に唯一残されたオオヒシクイ越冬地を存続させるため、稲波干拓地周辺の引舟地区と霞ヶ浦湖心部周辺を早急に鳥獣保護区に指定すること。

【回答】

県では、これまで、オオヒシクイを保護するため、江戸崎鳥獣保護区の区域拡大を図り、現在 1,468ha を指定しているほか、稲波干拓地部分については、平成 26 年 11 月に特別保護地区に指定し、工作物の設置等の行為を制限しております。

また、鳥獣保護区の南東側に隣接する地域を、高田特定猟具使用禁止区域（銃）に指定（311ha）し、銃猟を禁止して鳥獣の保護を図るとともに、住民の安全及び静穏な生活環境の保全に努めております。

今後とも、オオヒシクイの飛来状況のほか、市町村や利害関係者、関係団体等の意見を踏まえながら、区域の見直しを行うなど、適切に対応してまいります。

（県民生活環境部：自然環境課）

7. 今回の世界湖沼会議の企画運営を議論する委員会等には限定された一部の市民団体しか参加していませんが、主催者である県はどのような基準で委員会等への参加を求める市民団体を選定したのかを明らかにしてください。(前回国内で開催された滋賀県主催の2001年第9回世界湖沼会議では、多くの市民団体関係者が企画運営に関わる委員に選ばれていました。霞ヶ浦からも当団体の前身となる団体代表が委員として参加しています。今回の会議では、市民参加は大きく後退したと言えませんか。)

【回答】

第17回世界湖沼会議の企画運営については、幅広く議論を行うため、一部の市民団体に限らず、市民団体、職域団体、NPO法人、企業等が複数加盟している団体について依頼しました。(県民生活環境部：環境対策課)